

# 祝 還暦

## 〜那須町 町制施行60周年〜

# さらなる発展を願って



那須町長 高久 勝

私たちのまち「那須町」は、昭和29年11月3日、那須村・芦野町・伊王野村が合併して、現在の那須町が誕生しました。あわただしく時が過ぎ去り、その間に人々の暮らしぶりや町の様子も随分変わりました。そして、今年11月で町制60周年を迎えました。今、私たちのまち「那須町」は、この記念すべき年をひとつの節目として、これからさらに躍進しようとしています。

私たちのふるさと那須町は、昭和29年の3町村合併から、今年11月3日で町制施行60周年を迎えました。

本町の歴史を振り返ると、昭和平成という激動の時代の中で、幾多の困難に直面してきました。その中でも、平成10年、11年と2年連続で本町を襲った未曾有の豪雨による那須水害、平成23年に戦後最大の被害をもたらした東日本大震災では、改めて自然の猛威を知らされることとなりました。しかしながら、那須水害では、関係機関のご尽力により激甚災害

が適用され、公共土木施設災害復旧事業等の復旧工事が順調に進みました。また、東日本大震災では、いち早く放射能対策事業を実施し、放射能汚染に伴う住民の健康不安の軽減に努め、さらには、風評被害対策事業を官民挙げて展開するなど、町民一丸となつてこの難局を克服しようとして取り組んでいるところです。

未曾有の苦難を経験したことから、那須町民の結束力と絆が一層強まり、「オール那須」体制が確立したと確信しております。

引き続き、町民の皆さまの安全安心の確保を図るとともに、観光業、農業などの主要産業の振興を図り、人と人とのふれあいを大切にした町民が主役のまちづくりを推進してまいります。

さて、我が国の経済情勢は、消費税増税の影響を乗り越え、景気が

緩やかに回復していると言われておりますが、景気回復の実感は、地方にまで届いておりません。また、地方行政を取り巻く環境は、深刻な人口減少、少子高齢化対策が喫緊の課題であり、かつてない大きな社会変革の時代を迎えています。

このような中、9月24日、NHK宇都宮放送局の開局70周年を記念して、那須町を舞台とした自転車ドラマが放送されました。また、来年6月には、全日本チャンピオンを決める国内最高峰の自転車レースである全日本自転車競技選手権大会ロードレースの本町開催が決定するなど、那須町の地域振興に対する取り組みが、全国的に注目を集めております。

この機会を逃すことなく、「私たちのふるさと那須町」をさらに活性化させるため、那須町の持つ豊かな自然環境や資源を活用した各種施策に取り組んでまいります。

人生に例えるならば、還暦に当たる節目の年を迎え、本町の礎を築いてこられた諸先輩方のご功績に改めて深い敬意を表するとともに、町民の皆さまと力を合わせて、新たな那須町を切り開き、輝く未来を後世に引き継いでいきたいと考えておりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 那須町のあゆみ

昭和29年	那須村、芦野町、伊王野村が合併し、那須町が誕生。初の町長選挙が行われる。
昭和30年	初の那須町議会議員選挙が行われる。旧鍋掛村寺子の一部を那須町に編入。
昭和32年	役場本庁舎完成。旧町村農業委員会が統合し、那須町農業委員会が発足。
昭和36年	町営住宅（15戸）が上の原に完成。町営那須岳スキー場にリフト完成。
昭和39年	黒磯町、那須町共同火葬場完成。業務開始。
昭和40年	母子健康センター開設。畜産センター完成。
昭和42年	那須高原有料道路が開通。黒田原地区簡易水道完成。給水開始。
昭和43年	共同利用模範牧場が大谷に完成。那須山麓有料道路が開通。中央公民館完成。
昭和45年	老人いこいの家完成。
昭和46年	黒磯那須消防組合発足。
昭和49年	東北自動車道（矢板〜白河間）開通。
昭和51年	町民福祉センター完成。伊王野基幹集落センター完成。
昭和54年	町立図書館オープン。中央運動公園野球場オープン。町制25周年記念式典開催。那須町民憲章公布。町の花、町の木、町の鳥、那須町民の歌制定。
昭和57年	雇用促進住宅西原宿舍入居開始。東北新幹線開通。
昭和58年	養蚕内工業団地分譲開始。
昭和59年	役場新庁舎完成。